



2019-2020年度 主題

国際会長： Jennifer Jones 「より良い明日のために教を築く」
 アジア太平洋地域会長： “Action!”
 田中 博之（東京多摩みなみ）
 東日本区理事： 山田 敏明（十勝） 「勇気ある変革、愛ある行動！」
 湘南・沖縄部長： 森田 幸二郎（沖縄） 「ワイズを社会に広める再構築をする」
 クラブ会長： 今城 高之 「奉仕する、みんなちがって みんないい」
 ～まずは隣人から～



今月の聖句

光は暗闇の中で輝いている。
 暗闇は光を理解しなかった。
 その光は、まことの光で、世に来て
 すべての人を照らすのである。
 ヨハネによる福音書1：5.9

2020年1月本例会

日時：1月24日 18:30～
 場所：かけはし都筑
 司会：岡崎さよ子
 受付：胡麻尻眞佐

《プログラム》

- | | |
|---|----|
| 1.開会点鐘 | 一同 |
| 2.ワイズリング・信条 | 一同 |
| 3.今月の聖句・祈祷 | |
| 4.ゲスト・ビジター紹介 | 司会 |
| 5.会長挨拶 | 会長 |
| 6.クラブ総会
・議題
2020-2021年度クラブ役員
ならびにクラブ役割分担について | 議長 |
| 7.Happy Birthday
胡麻尻眞佐さん (1/10) | |
| 8.報告・連絡・アピール | |
| 9.会食懇親会
@ガブリエル | |

謹賀新年

巻頭メッセージ

年の初めに

林 茂博

昨年暮れ、生まれて初めて「ライブコンサート」へ行きました。旧知の社協職員から「K君がオーディションに受かって、初めてステージで歌うというメールを受けたが、自分は仕事で行けないから代わりに行ってほしい」と言われて、何もわからずに出かけたのです。K君はアスタPCのメンバーから難関の採用試験に合格して、病院の事務員として働いています。重度の障がいがあり電動車いすでの生活ですが、「夢は歌手になること」で、休日にはボイストレーニングを受けていました。その彼が初ステージに立つというのです。

行って見て驚きました。出演者全員が障がい・難病者でした。プロフィールには、クランプ病・タンジール病・軟骨無形性症など聞きなれない難病に指定された病名が並んでいるのです。「余命1年と宣告されたけど、もう2年生きてま～す。」と明るく自己紹介する若い女性は輝いていました。K君は昨年10月のオーディションに受かり、4期生タレントになったというのです。出演者は、今自分が持っている能力を精一杯発揮して、今生きている喜びを表現していました。

私事ですが、この3年を振り返ると我家は四苦(生老病死)の苦痛をいやというほど味わい、有形無形の多くのものを失いました。介護と家事に追われる日々を過ごすと、自分の周りしか目に入らず、自己中心になってしまうことを痛感しました。また、失ったものを数え上げると、自分がみじめになるだけだということも骨身にしみました。難病や重度の障がいを持ちながらも、明るくパフォーマンスする出演者に、失ったものばかりに気を取られ、今持っているもの・生きていることに喜びと感謝することをないがしろにしていた自分に気づかされました。



2020年という節目の年、21世紀を迎えてもう20年になるのかと、時の流れの速さを改めて感じます。田園江田教会が開拓伝道として、港北ニュータウン集会を開始したのは、21世紀最初の日曜日でした。「ミレニアム」という言葉が懐かしく感じられます。その集会が相賀 昇牧師を迎え、田園都筑教会となり、両教会が私たちのクラブの母体となっていることに、特別の感慨を覚える年明けです。

「わたしには金や銀はないが、持っているものをあげよう。ナザレの人イエス・キリストの名によって立ち上がり、歩きなさい。」このペトロの言葉に励まされて、生かされていることに感謝して、弱ってはいても、まだ持っているもので「できること」をなしていく年にしたいと願っています。

(完)



《報告》 横浜つづきクラブ1月度事務例会

辻 剛

2020年1月度事務例会

日時：2020年1月14日（火）18:00~20:00

場所：田園都筑教会

出席：今城 T・H、岡崎、岡田 K・M、胡麻尻、鈴木 S・K、
辻 T s、林 S、福島、横田

◇黙祷：一同

◇会長および横田孝久さんより、1月4日田中庸夫氏（2017年まで当クラブメンバー）が召天された(享年91歳)との報告があった。この突然の訃報に一同驚きをもって接しご冥福をお祈りした。議事

◇下半期行事予定

・次年度クラブ役員人事の件

鈴木茂次期会長より次期クラブ役員の構想(案)が発表された。基本的に各メンバーの同意を得たが、最終的には1月本例会に併催のクラブ総会場で決定予定。

執行部：会長/鈴木茂、副会長/辻剛、書記/今城高之、会計/鈴木恭子、次期副会長/林茂博、副書記/今城宏子（今城書記が広報・プリン担当も兼務するため負担軽減から当該年度は副書記を置くことにした）

・Y-Y's合同新年会（1/18）の件

今城会長T, H、鈴木S, 辻TS, 相賀チャレン、林Sの各メンバーが出席予定。

・1月本例会の件

1月24日（金）：クラブ総会を開催予定。司会・岡崎、受付/胡麻尻、今城宏子を確認。

・2月事務例会の件

当日は横浜Y M C A 会員大会、田園都筑教会うたごえ広場他イベントが重複しているので、その対応について協議した。

結論：緊急議題が「ない」と思われる場合、事務例会は中止する。「ある」場合は、別途会長よりその対応についてメールにて連絡を行う。なお、ピンクシャツデー対応は、北Yとの交流会で行う。T O Fは各自で対応する。

・2月本例会(2/28)の件

北Yとの交流会として行いが、卓話者の件は山中館長に一任する。場所は例年通り「敦煌」とするが、会費についてはこれまでの3,000円から3,500円へアップを了解した。

・湘南・沖縄部大会の件：2月22日の大会へは、今城会長、鈴木S・K、辻TSの出席を確認。

・第88回Y-Y's協議会の件：3月3日(火)開催を確認。奮って参加を！

・3月本例会の卓話者の件

これまでは多摩みなみクラブの深尾鏡子さんおよび石田孝次さんの「合同卓話」を予定していたが、別々に実施していただく方向で協議を行った。

その結果、別々をお願いすることで合意。但し、(A)「実演込みの場合」と(B)「お話だけの場合」を判断するため、深尾さんにもう少し情報をいただくことになった。

情報はいただき次第、メールでクラブメンバーに連絡を行い、(A)か(B)を決定する。

石田さんには、4月または6月で打診する。

・湘南・沖縄部長の当クラブへの公式訪問の件：森田幸二郎部長より当クラブには5月22日に訪問したいとの連絡があった。当日は恒例の富士山例会を予定していることから、森田部長が富士山エコビレッジへ足を延ばして頂けるならビジターとして受け入れる。

◇報告

今年度中間決算報告の件

会長および今城宏子会計から報告があったが、若干の質疑応答の後、承認された。

◇報告・アピール

・横浜Y M C A 会員大会(2/11)に関連して鈴木茂さん（会員事業委員長）より以下のコメント委があった。

平和のメッセージとして「平和をつくり出す人は幸いである」と題して講演を行う関田寛雄牧師のプロフィール等の紹介、当日、会場の2階に設置するワイズのブースに置くためにバナナ、ポスターおよび入会案内を用意して欲しい。（今城会長が対応）。

◇その他、報告アピールなど。

・社協関係

1/25(土)10:00～区役所、各拠点および災ボラとの実施訓練（横田さん参加予定）、

2/4(火)10:00～12:00障害のある人のためのボランティア講座（かけはし都筑）

2/12(水)10:00～12:00ボランティア・サロン（かけはし都筑）

・その他： 2/19(水)10:30～12:00Poppy
13:30～TKBカード作り

◇2月号プリンについて以下を確認。

巻頭メッセージ：横田さん

例会報告（北Y交流会）：今城宏子さん

以上



12月のデータ

例会出席	19名	在籍会員数	17名	各種記録	前月	年度累計	
メンバー	12名	月間出席者数	12名	使用済み切手	0	0	
ビジター	0名	メーキャップ	2名	スマイル	0	12,000円	
ゲスト	7名	月間出席率	82%				

《報告》 横浜YMCAクリスマス会

当クラブでは、ここ数年来、各年の最後を横浜YMCAのクリスマス会への参加で閉じることにしています。

皆が忙しい年の暮れ、それぞれが連なる教会やボランティアグループのクリスマスや年末の行事も多く、YMCAのクリスマス会にも参加したい、といったことから、クラブの12月例会は横浜YMCAのクリスマス会へ合流となっている次第です。

今年は12月19日に開催され、維持会員、常議員、事業委員、運営委員、ワイズメンのほかスタッフや次年度入職予定者など110名余の皆さんが集まりました。礼拝では横浜海岸教会平山牧師より「キリストの誕生が力になる今の時代」と題するメッセージを頂き、共にキリストの誕生を祝いました。

祝会の冒頭では台風15・19号の被災地地支援活動報告がありました。福島県いわき市、長野県の被災地で横浜YMCAの若いスタッフや県内の高校生たちがハードワークに取り組んだ様子が報告されました。席上、19・15号被災地支援献金が行われ、70,095円が捧げられました。



その後、来年度からYMCAに奉職する採用内定者が紹介され、会場は一気にフレッシュな空気に満たされました。用意された軽食・飲み物を頂きながら、世代を超えた交わりが行われ、クリスマスの恵みをみんなで満喫しました。最後に、工藤誠一理事長より閉会のご挨拶があり、クリスマスの恵みに感謝されると共に、災害で被害を受けられた方々への思いが述べられました。（編集子）

《北Y便り》

北YMCA館長 山中 奈子



今年の冬は暖かく過ごしやすい日があるかと思えば、逆に寒さに震える日があったりと体にこたえる日々が続いています。地球の気候変動も大きく、今年は雪がなかなか降らず「スキーキャンプができるかどうか」非常に心配な日々が続きました。

12月26日～4泊5日で柵池・志賀を舞台にキャンプは行われました。特に柵池は雪が少なく、一部のコースしか滑走できない状況で横浜をスタートしました。しかし、初日の夜から大雪となり、無事全コース滑ることができました。特に初心者にとっていい雪で滑ることは上達への第一歩となります。2日目は雪が降りすぎて、リフトも止まってしまうこともありましたが、3日目からは晴天が続き気持ちよく滑ることができました。

トライアングルクラスでも冬のキャンプが富士山YMCAで行われました。発達障がいのある中高生を対象としたチャレンジャーキャンプでは「星」をテーマにキャンプを進めました。2日目には近くのプラネタリウムへでかけ、冬の星座について学んできました。そしてその日の夜には富士山YMCAで一番高いヘリポート跡で天体望遠鏡をのぞきました。寒い夜でしたが、満天の星空にみんなびっくり！暖かいココアを飲みながら非日常の空間を楽しみました。

キャンプは日常から離れて、ちょっと成長できる時間です。いつもはお母さんにやってもらうことも自分でできるようになります。発達障がいの子どもの生活上の課題も見ることができます。YMCAにとってキャンプは子どもたちの成長を身近で見ることができる大切なプログラムです。



《トピックス》

当クラブの公式行事ではありませんが、今回で4回目となる「箱根駅伝観戦会」が1月3日に行われました。当時当クラブの会員であった久保勝昭さん（現つるみクラブ会長）が箱根駅伝のコース沿い、新子安に住んでいることから、駅伝の応援がたら新年会をやるという話になり、復路である新年3日の昼前に久保邸前に集まることになり、久保さんが新クラブを立ち上げて当クラブを去った今も引き続いて行われています。何故箱根駅伝かという、当クラブには出場校を母校とするメンバーが多いことが第一の理由です。青学、日体大、法政といった学校のOB/OGがいます。今一つの理由は、理由はともあれ集まって楽しもうという思いでしょう。第二火曜日の次回事務例会まで皆に会うのを待てない、といったことではないでしょうか。



集まって、食べて飲んで騒ぐのが好きな面々が多いのは間違いないでしょう。今回は、当クラブから5名、つるみクラブから3名、横浜クラブから1名（田口横浜Y総主事）が参加して、一品下げていったとは言え、きっとお正月をのんびり過ごしたいと思っておられた久保夫人を煩わせました。結果は、青学の総合優勝となり、更に大いに盛り上がった次第。日が暮れるころ、それぞれふらつく足で家路につきました。（編集子）



《2020年在京合同ワイズ新年会速報》

- ◇日時：2020年1月11日（土）14:00~18:30
- ◇場所：東京YMCA社会体育・保健専門学校
- 《プログラム》
- ◇第1部／礼拝
- ◇第2部／挨拶
 - 加藤義孝(東京クラブ会長)
 - 神崎清一(日本YMCA総主事)
 - 田中博之(アジア・太平洋地域会長)
 - 菅谷淳(東京YMCA総主事)
- ◇第3部／映画鑑賞「大地の詩（留岡幸助物語）」
- ◇第4部／食事・懇親会、

※湘南・沖縄部からの出席者：久保勝昭・つるみクラブ会長および辻。（辻 剛 記）



TKBお仕事会があり、東日本大震災被災地の支援先へ送る誕生カードを作りました。この3月11日



で大震災から丸9年を迎える被災地では、表向きの復興とは裏腹に、依然として様々な痛み、苦しみの中におられる方々大勢居られます。細々ではありますが、それらの方々に思いをはせて、毎月のお仕事会を頑張っています。（係）

《2月の主な行事》

- ◆横浜YMCA会員大会
 - 日時：2月11日（火・休日）10:00~14:00
 - 場所：湘南とつかYMCA
 - 公園：「平和を作る人は幸いである」-和解の勤めに生きる- 関田 寛雄さん（日本キリスト教団牧師）
 - ※様々なプログラムが準備されています。
 - ※子どもも大人も会員以外でもだれでも参加できます。
- ◆ピンクシャツデー
 - カナダでスタートし、日本では横浜YMCAが提唱した「世界的いじめ反対運動」は、日本政府も後援する広がりを見せています。今年、2月26日をYMCAピンクシャツデーとして様々なイベントも用意されています。つづきクラブでは2月28日の例会（北YMCAとの交流例会）にピンクをまもって参加します。